

互いに認め合い支え合う活動を大切にした小中一貫教育

ねがい

〈目的〉

新しいなかまづくり・学級づくり・学校づくりの一層の充実を図るために、従来の6・3制と、4・3・2制の区切りによる教育のよさの融合をめざした教育を推進することにしました。

〈内容〉

つながり

● 小中合同での児童生徒会活動

中学校の部活動激励会（総体・コンクール等の壮行会）を小学6年生全員が参観、小学生が中学校の高一祭（文化祭）を自由参観、中学生と小学5・6年生が参加しての人権集会の実施、小中合同運動会の開催など、小中合同行事や交流等の効果的な実施に取り組んできました。

特に、期別に「ふたばサポート隊」を設けた活動では、運動会等で、あおぼちゃん（8・9年）の有志の生徒が、ふたばちゃん（主に1・2年）の児童の入場やトイレの誘導を手伝ったり、一緒にリレーの応援をしたりするピアサポートに取り組みました。

● 高松みらい科の実施

高松みらい科の2本柱である「環境教育」「キャリア教育」に、地域の人材を活用しながら、地域についての学習活動ができるだけ多く取り入れました。

Ⅱ期の小学6年（6年）と中学1年（7年）では、2つの学年が合同の縦割りで、児童生徒の課題選択による学習活動に取り組んでいます。



I期（1～4年）Ⅱ期（5～7年）Ⅲ期（8・9年）
ふたばちゃん わかばちゃん あおぼちゃん

【ふたばサポート隊 マスコットキャラクター】

● 給食や清掃活動での交流

多目的教室（ランチルーム）を使って、2つの学年の児童生徒が集まり、交流給食を行うことで、同じ校舎でも小中で教室の階層が違うため、なかなかふれあう機会がもてない中、お互いの様子を知り合うよい機会となりました。また、小学1・2年（1・2年）のトイレ清掃を、中学2・3年（8・9年）が担当したり、小中共同エリアを小中複数の学年が担当したりするなど、異学年とコミュニケーションをとりつつ、清掃を行っています。



【交流給食の様子】

〈成果〉

互いに支え合い認め合うことのできる温かい人間関係の構築、望ましい学習習慣や基本的な生活習慣の定着が図れるようになってきています。

今後も、多様な家庭環境を考慮した個に応じたきめ細かな指導を徹底するとともに、9年間を見通して、児童生徒の発達を考慮し、信頼関係を基盤とした生徒指導を継続していきたいと考えています。

高まり